

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和 3 年度相模原市障害者差別解消支援地域協議会（書面開催）		
事務局 (担当課)	地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 7 0 5 5（直通）		
開催日時	令和 4 年 3 月 2 3 日（水）～令和 4 年 3 月 2 9 日（火）		
出席者	委 員 3 8 人（別紙のとおり）		
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由	書面会議のため		
会議次第	<p style="text-align: center;">1 議題</p> <p style="text-align: center;">（1）相模原市障害者差別解消支援地域協議会について</p> <p style="text-align: center;">（2）障害を理由とする差別の相談事例等について</p> <p style="text-align: center;">（3）障害者差別解消法の改正と障害者差別解消に関する取組について</p> <p style="text-align: center;">（4）その他</p>		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(審議を書面等で行った理由)

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐため、出席者が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により委員から意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

1 議題

(1) 相模原市障害者差別解消支援地域協議会について

(中野委員) 協議会のような団体の活動があることで、少しでも差別解消につながり、共生社会の実現に向けて誰もが安心して住める相模原になって欲しいと思いました。

(田所委員) 国においては、社会福祉法の改正により「地域共生社会の実現」を目標として掲げています。近年、大きな課題として捉えられている社会的孤立、生活福祉ニーズの複合化、多様な貧困の形などについては、官民が一体となって取り組まなければ、解決の糸口も見つかりづらくなっています。このような中、障害に対する差別的考え方が上記の福祉課題の解決を困難にする場合も想定されますので、本協議会においても、市民や地域関係団体に向け、資料1-1、3 主な業務(6)の機能を積極的に発信することが重要だと思われれます。

(2) 障害を理由とする差別の相談事例等について

(豊永委員) 障害のある人の視点に立って対応することが必要だと改めて感じました。

(川合委員) 1-2、2-2、2-9の事例について、相談に対してしっかり対応されていると感じた。2-1、2-4、2-5の事例について、事業者による配慮の提供が「義務」になることにより、対応が変わりうるのではないかと感じた。

(奈良委員) 相談事例が今後の施策に活かされるよう体系化されているのはいいと思いました。

(佐藤委員) 医療は誰でも平等に受けることができるはずですが、実際はそうになっていません。インフラが有限であるためです。障害の有無にかかわらず、全員にサービスが行き渡らないのは事実です。障害者の方々からの御意見は所属団体に持ち帰って情報共有し、改められるところは改めて行きたいと考えています。

(小林委員) 相模原市における障害者の差別を解消するための課題が、様々な個別事例から見えてきます。本協議会では、この課題に対し、差別を解消するための、共生・共働での包摂関係を基本とした地域作りのために、各機関ができる具体的な働きかけについて検討できるとよいと思います。

(田所委員) 多様な障害の特性はもちろんですが、本人の年齢にともなうライフステージ、体格や体調、家族の状況など、様々な要因により求められる配慮は変化するものと思われます。現時点ではすべての差別、配慮、課題について解消することは難しいことではありますが、ハード面、ソフト面の合理的対応について、制度的対応も必要であると思われます。また、地域においては人の心（心情や価値観等）に向けて、事例や事象の共有により、「我が事」としての受け止めが進んでいくよう、地域団体や社会福祉法人等が起点となる福祉啓発的取組が求められると考えます。

(3) 障害者差別解消法の改正と障害者差別解消に関する取組について

(川合委員) 法の改正について勉強したいと感じました。

(奈良委員) 障害者差別の解消については、事業者のみならず一般市民の理解促進を目指し啓発していくことも重要なことだと思う。

(福田委員) 小学校低学年、高学年、また中学生向けのパンフレット等があれば、子供たちも学べる機会ができるのではないかと思います。

(小林委員) 継続して取り組むことが重要だと感じますので、今後も更なる取組のために、当センターも協力していきたいと思います。

(田所委員) 法の趣旨に則り、引き続き様々な場面で、積極的な対応をお願いします。

(郷司委員) 3 障害者差別解消に関する取組 (5) 今後の取組について (仮称) 障害者差別解消に向けた合理的配慮の事例集のタイトルかサブタイトルに市のキャッチフレーズである「共にささえあい生きる社会」を入れてみてはいかがでしょうか。

(4) その他

(中野委員) まだまだ不当な差別的取扱いや合理的配慮の不提供がたくさんあることに驚きを隠せません。その反面、いくつかの好事例があることはとてもうれしく思います。こうした好事例にあふれたまちづくりができたらと思いました。

(谷澤委員) 障害者から日常生活や活動で寄せられる意見等は大変重要です。好事例を拝見するとほっとします。法改正により好事例が多くなることを期待したいと思います。

相模原市障害者差別解消支援地域協議会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	神山 淳也	横浜地方法務局相模原支局 総務課長		出席
2	町田 謙治	相模原公共職業安定所 所長		出席
3	安藤 実	神奈川県相模原警察署 警務課住民相談係 係長		出席
4	豊永 弘継	神奈川県相模原北警察署 警務課住民相談係 係長		出席
5	向川 美紀	神奈川県相模原南警察署 警務課住民相談係 係長		出席
6	高坂 忍	神奈川県津久井警察署 警務課住民相談係 係長		出席
7	川合 きり恵	神奈川県弁護士会		出席
8	中野 陽子	和泉短期大学 准教授		出席
9	吉原 君子	相模原市身体障害者連合会 副会長		出席
10	永井 香苗	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		欠席
11	永井 祐喜	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		欠席
12	大石 真弥	みどり会（相模原市精神障害者家族会） 副会長		出席
13	三好 一郎	精神障がい者仲間の会（あしたば会） 事務局長		出席
14	石渡 清司	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		出席
15	大木 恵	相模原市自治会連合会 理事		出席
16	奈良 信	相模原人権擁護委員協議会		出席
17	佐藤 聡一郎	一般社団法人相模原市医師会 理事		出席
18	福田 雅一	相模原市立小中学校長会		出席
19	布施 昭愛	相模原商工会議所 事務局長		出席
20	佐田 昌史	相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事		出席
21	小林 麻衣子	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団		出席

22	田所 雅	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 事務局長		出席
23	谷澤 藤男	相模原市障害福祉事業所協会 副会長		出席
24	増田 美樹夫	相模原市地域包括ケア推進部 部長	会長	出席
25	三橋 英智	相模原市政策課 課長		欠席
26	芦野 拓	相模原市総務法制課 課長		出席
27	郷司 尚子	相模原市コンプライアンス推進課 課長		出席
28	大田 康雄	相模原市人事・給与課 課長		欠席
29	秋山 亮	相模原市財政課 課長		欠席
30	佐野 強史	相模原市危機管理課 課長		出席
31	石井 千春	相模原市区政推進課 課長		出席
32	関山 英雄	相模原市人権・男女共同参画課 課長		出席
33	仙波 康司	相模原市健康福祉総務室 室長		欠席
34	角田 仁	相模原市子ども・若者政策課 課長		欠席
35	菊地原 央	相模原市環境経済総務室 室長		出席
36	吉成 靖幸	相模原市産業・雇用政策課 課長		出席
37	松本 隆人	相模原市都市建設総務室 室長		出席
38	安藤 悟	相模原市緑区役所区政策課 課長		出席
39	岩田 隆之	相模原市中央区役所区政策課 課長		出席
40	市川 俊夫	相模原市南区役所区政策課 課長		出席
41	兼杉 千秋	相模原市教育総務室 室長		出席
42	松本 祥勝	相模原市学校教育課 課長		出席
43	水野 秀代	相模原市消防総務課 課長		出席
44	村田 典久	相模原市議会総務課 課長		出席
45	米山 守	相模原市高齢・障害者福祉課 課長		出席